



福島医発第1514号（地）
平成22年10月21日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 松 田 峻一良
（ 公 印 省 略 ）

「我が国における新たな多剤耐性菌の実態調査」における
NDM-1産生肺炎桿菌の検出について

「我が国における新たな多剤耐性菌の実態調査」につきましては、平成22年9月17日付け福島医発第1314号（地）にてご連絡し、調査への協力を依頼しておりますが、今般、本調査における第1例目のNDM-1産生菌が平成22年10月4日に検出された旨、福岡県保健医療介護部保健衛生課より別紙のとおり通知がありました。

本例は、海外渡航歴のない患者から検出されたものであることにご留意下さい。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、引続き本調査にご協力いただきますよう会員各位への周知方よろしくお願い申し上げます。

記

1. 調査対象となる菌

ア 腸内細菌科の細菌（大腸菌、肺炎桿菌、セラチア、エンテロバクター等）であって、

かつ、

イ カルバペネム系、フルオロキノロン系、アミノ配糖体系の3系統すべての抗菌薬（各1剤以上）に「R」と判定されたもの

2. 報告先（2ヵ所）

ア 国立感染症研究所 細菌第二部

電子メール：mdr-query@nih.go.jp FAX：042-561-7173

並びに

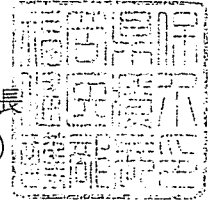
イ 管轄の保健所

22保衛第1843号

平成22年10月8日

社団法人福岡県医師会会長 殿

福岡県保健医療介護部長
(保健衛生課感染症係)



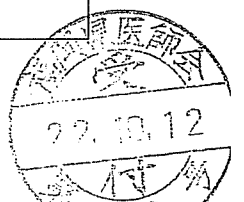
「わが国における新たな多剤耐性菌の実態調査」における
ニューデリー・メタロ-β-ラクタマーゼ (NDM-1) 産生肺炎桿菌の検出について (通知)

本県の保健医療介護行政の推進につきましては、日頃から特段の御理解、御配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記のことについて厚生労働省から別紙のとおり事務連絡がありましたので、お知らせします。

なお、本調査につきましては、今後も一層の実態把握が必要であることから、引き続き貴会会員へ協力いただきますようお願いいたします。

福岡県保健医療介護部保健衛生課
感染症係 西田
TEL 092-643-3268
FAX 092-643-3282





事 務 連 絡

平成22年10月4日

各 { 都道府県
保健所設置市
特別区 } 衛生主管部(局)長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長

「我が国における新たな多剤耐性菌の実態調査」における
ニューデリー・メタロ-β-ラクタマーゼ1 (NDM-1) 産生肺炎桿菌の検出について

標記の実態調査については、平成22年9月10日付の当職通知により、貴管下医療施設に協力を依頼し、9月15日より実施しているところですが、本日、本調査において第1例目である、NDM-1 産生菌が検出されました。本件について、別紙の通り報道発表を行いましたので、お知らせいたします。

国内における NDM-1 産生菌の検出としては、第2例目ですが、本例は、海外渡航歴のない患者から検出されたものであり、今後一層、国内における実態の把握が必要であることから、貴職におかれましては、引き続き、貴管下医療施設に対し、本調査への協力を依頼していただきますよう、お願いいたします。

なお、医療機関における院内感染対策が、「良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律の一部の施行について」(平成19年3月30日医政発第033010号医政局長通知)等に基づき、適切に行われるよう、引き続き、院内感染対策主管部局との連携を図っていただくよう、よろしくお願いいたします。



(別紙)

報道関係者 各位

平成22年10月4日

厚生労働省健康局結核感染症課

照会先: 感染症情報管理室長 中嶋 健介

課長補佐 林 修一郎

(電 話) 03-5253-1111

内線 2389、2373

直通 03-3595-2257

「我が国における新たな多剤耐性菌の実態調査」における ニューデリー・メタロ・β -ラクタマーゼ 1 (NDM-1) 産生肺炎桿菌 の検出について

「我が国における新たな多剤耐性菌の実態調査」において、ニューデリー・メタロ・β -ラクタマーゼ 1 (NDM-1) 産生肺炎桿菌が検出されましたので、ご報告いたします。

同調査におけるNDM-1産生菌の報告は、これが第1例であり、国内での報告例としては第2例です。

(検査結果)

- ・ 菌種: 肺炎桿菌 (*Klebsiella pneumoniae*)
 - ・ 国立感染症研究所におけるPCR検査結果: NDM-1 型
(既知の NDM-1 型β -ラクタマーゼ遺伝子塩基配列と完全に一致)
- ※10月1日までに菌株を受領し、検査を実施した7件のうちの1件。

(背景)

- ・ 8月下旬にさいたま市民医療センターに肺炎のために入院した高齢の女性患者の、入院時に採取した尿の検体から、多剤耐性の肺炎桿菌が検出された。
- ・ さいたま市民医療センターから、さいたま市健康科学研究センターを通じて、国立感染症研究所に菌株の提供があり、検査を実施したもの。(9月上旬に送付された検体が検査不能であったが、9月16日に改めて受領した検体の検査を実施。)
- ・ 患者は現在も入院中であるが、症状は軽快している。
- ・ 現在、入院中の他の患者から、多剤耐性肺炎桿菌は検出されていない。
- ・ なお、この患者には、最近の海外への渡航歴はない。